

「基礎縫いバイブル」を活用した プレゼンテーションと作品作り

本題材は、縫製のポイントをまとめた「基礎縫いバイブルカード」をグループで作り、プレゼンテーションを行った後に製作をするという指導を行っている。「基礎縫いバイブル」のポイントを自分達で確認して製作することで、自己学習の一助とした。

さらに、バイブルカードには、名称・写真・コツやそのようにする理由を書き出し説明させることで、確実な知識の定着を図っている。

1. 小学校の基礎縫いをマスターできていない生徒

中学校における基礎縫いは、小学校の基礎の上に成立する。しかし、小学校の既習事項である「玉結び」や「玉止め」の出来ない生徒が2割ほどいるという実態である。「一針すくう」ということが理解できていないし、指ぬきの使い方も定着していない。授業を展開していくと、「半返し縫い」と「まつり縫い」に苦労している生徒も見られる。特に、「まつり縫い」では、「一針すくう」ことを途中でしなくなり、「かがり縫い」になっている生徒もいる。このような実態では、生徒が学習したことを生活に生かすことは難しい。

2. 指導目標

調査・実習活動したプレゼンテーションを行い、製作に関する課題を見つけ、実践させる。

3. 題材の評価規準

ア 基礎縫いについて関心を持ち、よりよい衣生活の仕方を追求しようとしている。【関心・意欲・態度】

イ 基礎縫いについて課題を見つけ、その解決をめざして工夫している。【工夫・創造】

ウ レポートを作成し、プレゼンテーションすることができる。【技能】

エ 裁縫する意義を理解している。【知識・理解】

4. 指導計画

学習内容	時間
(1) 学習の見通しを持つ。 ① 学習前の技能の調査をする ② 豊かなものについて考える ③ 学習の見通しと、基礎縫いバイブル担当決定	1
④ 豊かなものの製作コースを選ぶ Aコース:三角巾(2年時に実習で活用) Bコース:体育館シューズ入れ(学校で活用) Cコース:リバーシブルエコバッグ(学校・家庭で活用)	1
(2) 製作品の全STEPを知り、紙でプレ作成を行う。	
(3) 基礎縫いバイブルを作成する。	2
(4) プレゼンテーションを行う。 プレゼンテーションの評価をする。	1
(5) 作品を作る。	5
(6) 学習後の振り返りをする。	1

5. 「基礎縫いバイブル」

①課題設定

学習前の技能を学習カードでチェックした後、課題を設定した。4人グループの9班にあわせて、9つの課題とした。その内容を小学校履修内容・小学校応用

